

所属	看護学部／基盤看護学系	職名	教授	氏名	田中 美智子
----	-------------	----	----	----	--------

1. 教員紹介・主な研究分野

1992年千葉大学大学院医学研究科博士課程修了。1992年～鹿児島純心女子短期大学講師、鹿児島純心女子大学看護学部講師として勤務。1998年～宮崎県立看護大学に講師、助教授、准教授として勤務し、2009年4月本学に着任。

- ・ 高齢者の健康維持増進と慢性閉塞性肺疾患患者の呼吸法
高齢者の健康維持増進に向けて、意識的に横隔膜を使用して行なう呼吸法が循環動態や自律神経系にどのような影響を与えるかについて検討している。
- ・ 睡眠の簡易評価システム開発と高齢者における睡眠の質改善
日常的な睡眠状態の測定・評価を可能にするためのシステム開発と高齢者に見られる睡眠に関する問題を解決するために、睡眠の質改善のための援助について考えている。
これらの研究の他に身体を温めることの効果についても検討している。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

<著書>

田中美智子,1章1節,4章1・2・4章,呼吸機能障害/循環機能障害,健康の回復と看護①,ナーシンググラフィカ.佐伯由香・田中美智子 編集.メディカ出版,2014年1月.第3版.

<論文>

- ・ 田中美智子,長坂 猛,江上千代美,近藤美幸,榊原吉一:日常生活環境下における第1夜効果の有無の評価.看護人間工学研究誌,13,25-27,2013.
- ・ 田中美智子,長坂 猛,江上千代美,近藤美幸,榊原吉一:センサーマット型睡眠計と睡眠日誌による高齢者の睡眠評価～一事例の検討～,看護人間工学研究誌,14,29-34,2014.
- ・ 田中美智子,江上千代美,近藤美幸,長坂猛,榊原吉一:高齢者1事例におけるライフイベントが睡眠状態に与える影響.看護人間工学研究誌,16,37-42,2016.
- ・ 細野恵子,加藤木真史,吉良いずみ,菱沼典子,田中美智子,井垣通人,丸山朱美,加藤京里:排便パターン分類のためのフローチャートの開発—調査研究データの再分析から—,日本看護技術学会,15(1),2016.印刷中.

②その他最近の業績

<学会発表>

- ・ M.Tanaka, M.Nagasaka, C.Egami, M.Kondo, Y.Sakakibara.(2013) The effect of the first night on sleep parameter measured in the home of subjects. 第90回日本生理学会.東京.
- ・ M.Tanaka, M.Nagasaka, C.Egami, M.Kondo, Y.Sakakibara.(2013) Autonomic nervous response and subjective evaluation about sleep quality for sleep in the menstrual cycle. 37th International Union of Physiological Sciences. Birmingham.
- ・ 田中美智子,長坂 猛,江上千代美,近藤美幸,榊原吉一.(2013) 眼への温熱刺激による自律神経反応及び主観的評価.第39回日本看護研究学会学術集会.秋田
- ・ 田中美智子,長坂 猛,江上千代美,近藤美幸,榊原吉一.(2014) 性周期における睡眠前半の自律神経反応と睡眠評価.第40回日本看護研究学会学術集会.奈良
- ・ 田中美智子,江上千代美,近藤美幸,長坂 猛.(2014) 高齢者1事例のライフイベントと睡眠状態.第13回日本看護技術学会学術集会.京都
- ・ M.Tanaka, M.Nagasaka, C.Egami, M.Kondo, Y.Sakakibara.(2015) Autonomic nervous response and subjective sleep quality for sleep in older adults. 第92回日本生理学会.神戸.
- ・ 田中美智子,江上千代美,近藤美幸,長坂 猛.(2015) 高齢者における睡眠評価に影響している因子の検討.第14回日本看護技術学会学術集会.愛媛

- ・ M.Tanaka, M.Nagasaka, C.Egami, M.Kondo, Y.Sakakibara.(2016) The relationship between sleep parameter and subjective evaluation about sleep quality during follicular and luteal phases of the menstrual cycle. 第93回日本生理学会. 札幌.

③過去の主要業績

〈論文〉

- ・ M.Tanaka, A.Masuda, Y.Honda, et al.: Estimation of CO₂ chemosensitivity from the carotid body in humans. Oxygen Sensing: Molecule to Man, edited by S.Lahiri et al. Kluwer Academic / Plenum Publishers. 663-670, 2000.
- ・ M.Tanaka, M.Nagasaka, Y.Honda, et al.: Improved O₂ transport and utilization capacity following intermittent hypobaric hypoxia in rats. Adv. Exp. Med. Biol. 499, 375-379, 2001.
- ・ M.Tanaka, M.Kusuda(Takeshita), K.Abe. and M.Nagasaka.: Effects of iron deficiency anemia on growth rate of rats. Structure and Function. 7(2), 67-75, 2009.

3. 外部研究資金

- ・ 研究代表者：文部科学省、科学研究費補助金(基盤研究 C)「働く更年期女性の睡眠に着目した就労生活の質を改善するケアの検討」、700,000(平成27年度)、平成27年度～30年度
- ・ 研究分担者：文部科学省、科学研究費補助金(基盤研究 C)「目もとと後頸部のどちらを暖めるとよく眠れるのか」、50,000(平成27年度)、平成26年度～29年度

5. 所属学会

日本看護研究学会、日本看護研究学会九州地方会(地方会役員、地方会監事、選挙管理委員)、日本生理学会(評議員)、日本臨床生理学会、日本呼吸器学会、日本病態生理学会、日本人間工学会、看護人間工学部会(編集委員長)、日本登山医学会、コメディカル形態機能学研究会(学術委員)、日本看護技術学会(査読委員、評議員、研究活動推進委員)、日本看護科学学会(代議員、和文誌編集委員、英文誌査読委員)

6. 担当授業科目

〈学部〉

生態機能看護学Ⅰ・2単位・1年・前期、生態機能看護学Ⅱ・2単位・1年・後期、教養演習・1単位・1年・前期、専門職連携入門・1単位・1年・後期、病態・生態看護学実験・1単位・2年・前期、生態機能看護学Ⅲ・1単位・4年・後期、専門看護学ゼミ・2単位・3年・前期(通年)、卒業研究・2単位・4年・通年教養演習・1単位・1年・前期、専門職連携入門・1単位・1年・後期、

〈大学院〉

実験看護学特論・2単位・1年・前期、実験看護学演習・2単位・1年・後期、Advanced 生理学・病態生理学・2単位・1年・前期、終末期高齢者看護論・2単位・1年・後期(一部)、基盤看護学特別研究・8単位・2年・通年

7. 社会貢献活動

福岡県准看護師試験委員

8. 学外講義・講演

出前講義「からだのリズム～睡眠と覚醒～」：戸畑高校(7/13)、嘉穂東高校(10/22)、糸島高校(10/29)

9. 附属研究所の活動等

ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員